

新帰元

五泉市 永谷寺 吉原東玄
加茂法話会十一月二十日(木)

ある葬儀での出来事です

それは、曹洞宗の葬儀でした。お通夜の時ご住職のご法話で戒名の説明があり、故人様のご生涯やお人柄などが話され、この戒名をお付けになった理由が説かれます。そんな中、ご遺族の方から「戒名の上にある、新帰元とは何でしょうか？これも戒名なのですか？」というご質問がありました。ご住職曰く、「これは、字のごとく、新しく元に帰るという意味で戒名ではありません」。その意味は「人間は亡くなったら、何処に行くのでしょうか？元の来たところに帰るのです、どこか知らない処に行くのではなく元の世界に帰っていくのですよ」ととてもやさしく説かれます。

ご遺族の皆さんのお顔が、とてもしつかりした安堵したような表情に変わっていたのが印象的でした。翌日のお別れで、奥さんが故人様にお掛けになった最後の言葉は「これきれない涙の中「お父さんご苦労さま、後から行くからちゃんと待っていてね。」でした」。

名古屋市 西田葬儀社ブログ より

〇ここに残る絵本紹介



『おばあちゃん』

大森真貴乃：作

ほるぷ出版

このころ 天津空にも 花そなふ 三世のほとけに たてまつらばや

※三世Ⅱ過去、現在、未来。

『道元禅師和歌集』より

復興支援ソング 「花は咲く」

作詞:岩井俊二 作曲/編曲:菅野よう子

1. 真っ白な雪道に 春風香る
わたしはなつかしい あの街を思い出す
- 叶えたい夢もあった 変わりたい自分もいた
今はただなつかしい あの人を思い出す
- 誰かの歌が聞こえる 誰かを励ましてる
誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側に
- 花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く わたしは何を残しただろう
2. 夜空の向こうの 朝の気配に
わたしはなつかしい あの日々を思い出す
- 傷ついて傷つけて 報われず泣いたりして
今はただ愛おしい あの人を思い出す
- 誰かの想いが見える 誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える 悲しみの向こう側に
- 花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く わたしは何を残しただろう
- 花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く わたしは何を残しただろう
- 花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く いつか恋する君のために